

今回の講習会の冒頭、年明けに、模擬患者として初めての本番演技が求められる授業が予定されていることが発表されました。第2回と第3回で練習したシナリオを使って、いよいよ学生を相手に患者を演じることになります。グループに分かれての演習にも、これまでとは一味違った緊張感が漂いました。

確実にスキルアップしている参加者。自ら、接遇に難のある医師を演じる場面も。



「ここは一言一句シナリオ通りに」、「ここは多少アレンジしてもOK」、「想定にない質問されたら？」など、本番を意識して入念なシナリオチェックが進みました。

教員がシナリオを指さしながら説明する場面があちらこちらで見られました。

